

地方自治法（昭和 22 年法律第 67 号）第 234 条の規定により、次のとおり一般競争入札を実施する。

令和 2 年 7 月 7 日

京都府流域下水道事務所長 永 濱 直 行

## 1 入札に付する事項

### (1) 委託業務の内容

- ア 木津川流域下水道洛南浄化センター汚泥収集運搬業務委託（下水汚泥（脱水））  
＜流 2 洛南第 12-01 号の 6＞
- イ 木津川流域下水道洛南浄化センター汚泥収集運搬業務委託（下水汚泥（乾燥））  
＜流 2 洛南第 12-01 号の 11＞
- ウ 木津川流域下水道洛南浄化センター汚泥収集運搬業務委託（下水汚泥（乾燥））  
＜流 2 洛南第 12-01 号の 12＞
- エ 宮津湾流域下水道宮津湾浄化センター汚泥収集運搬業務委託（下水汚泥（脱水））  
＜流 2 宮津第 12-01 号の 5＞
- オ 木津川上流流域下水道木津川上流浄化センター汚泥収集運搬業務委託（下水汚泥（脱水））  
＜流 2 上流第 12-01 号の 7＞

### (2) 業務を行う期間

令和 2 年 10 月 1 日から令和 3 年 9 月 30 日まで

### (3) 業務の仕様等

入札説明書及び仕様書のとおり

## 2 契約条項を示す場所等

- (1) 契約条項を示す場所、入札説明書、仕様書及び一般競争入札参加資格審査申請書（以下「確認申請書」という。）の交付場所並びに契約に関する事務を担当する組織の名称、所在地等

〒617-0836 長岡京市勝竜寺樋ノ口 1

京都府流域下水道事務所総務課

電話番号 (075)954-1877

ファクシミリ番号 (075)955-2224

- (2) 入札説明書等の交付期間

令和 2 年 7 月 7 日(火)から令和 2 年 7 月 17 日(金)まで（日曜日及び土曜日を除く。）

- (3) 入札説明書等の入手方法

原則として、(2)の期間に、京都府流域下水道事務所のホームページからダウンロードすること。やむを得ず直接交付を受ける場合は、(1)の場所に問い合わせること。

## 3 入札に参加する者に必要な資格

入札に参加を希望する者は、次に掲げる条件を全て満たさなければならない。

- (1) 地方自治法施行令（昭和 22 年政令第 16 号）第 167 条の 4 の規定に該当しない者であること。
- (2) 確認申請書の提出期間の最終日から開札日までの期間において、京都府の指名停止とされていない者であること。
- (3) 廃棄物の処理及び清掃に関する法律（昭和 45 年法律第 137 号）第 14 条の規定による京都府の産業廃棄物収集運搬業の許可（事業範囲に汚泥が含まれているものに限る。）を受けている者であること。
- (4) 令和元・2・3 年度「物品又は役務の調達に係る競争入札参加資格者名簿」の次の業務種目に

登録され、競争入札参加者の資格を得ている者であること。

大分類「廃棄物処理」 一小分類「産業廃棄物収集運搬」

- (5) 地方公共団体又は地方公社が発注し直接契約した業務委託であって平成22年度以降に当該団体又は公社が排出する下水汚泥を収集運搬した履行実績を有する者であること。
- (6) 貨物自動車運送事業法（平成元年法律第83号）第3条の規定による一般貨物自動車運送事業の許可を有する者であること。
- (7) 仕様書に定める条件を満たしている荷台構造の車両を複数台以上有している者であること。
- (8) 京都府内に本店又は支店を有している者であること。

#### 4 一般競争入札参加資格の確認

入札に参加を希望する者は、確認申請書及び一般競争入札参加資格確認資料（以下「申請書等」という。）を次のとおり提出し、入札参加資格の確認を受けなければならない。

なお、提出した申請書等に関し、契約担当者から説明を求められた場合は、それに応じなければならない。

##### (1) 提出期間

令和2年7月16日(木)及び令和2年7月17日(金)

##### (2) 提出場所

2の(1)に同じ。

##### (3) 提出方法

提出期間中の午前9時から正午まで及び午後1時から午後5時までの間に持参して提出すること。

##### (4) 添付資料

確認申請書には、次に掲げる資料を添付しなければならない。なお、様式等の詳細は入札説明書による。

ア 競争入札参加資格審査結果通知書の写し

イ 同種業務の受託実績調書

ウ 同種業務の受託実績に係る契約書等の写し

エ 廃棄物の処理及び清掃に関する法律第14条の規定による京都府の産業廃棄物収集運搬業の許可（事業範囲に汚泥が含まれているものに限る。）を受けている者であることを証する許可証の写し

オ 貨物自動車運送事業法第3条の規定による一般貨物自動車運送事業の許可を有する者であることを証する許可証の写し（自動車による収集運搬を行う場合のみ）

カ 使用予定車両一覧表及び自動車検査証の写し

キ 委任状（権限を営業所長等に委任する場合）

##### (5) 資料等の提出

申請書等を提出した者に対し、資格審査の公正を図るため、申請書等の記載事項を証明する資料等の提出を求めることがある。

##### (6) 資格審査結果の通知

入札参加資格の確認結果は、別途通知する。

##### (7) その他

申請書等の作成等に要する経費は、提出者の負担とし、提出された書類は返却しない。

#### 5 入札手続等

##### (1) 入札及び開札の日時、場所等

ア 日時

- (ア) 1の(1) のアの業務  
令和2年7月31日(金) 午前10時
- (イ) 1の(1) のイ及びウの業務  
令和2年7月31日(金) 午前10時30分
- (ウ) 1の(1) のエの業務  
令和2年7月31日(金) 午前11時
- (エ) 1の(1) のオの業務  
令和2年7月31日(金) 午前11時30分

イ 場所

長岡京市勝竜寺樋ノ口1  
京都府流域下水道事務所2階北会議室

(2) 入札の方法

- ア 持参によることとし、郵送又は電送による入札は認めない。
- イ 契約の締結は単価契約により行うので、入札に当たっては、単位重量当たりの収集運搬費の単価を設定することを条件とする。
- ウ 落札の決定は、イによる単価に基づいて算定された契約期間に係る予定数量の総額の比較によって行う。
- エ 1の(1) のイ及びウの業務については、各業務の入札額を合算した合計額で入札する方式(合冊入札)とし、落札の決定は合計入札金額の総額の比較によって行うが、契約書については業務毎にそれぞれ締結することとする。

(3) 入札書に記載する金額

落札決定に当たっては、入札書に記載された金額(予定数量に対する総額)に当該金額の100分の10に相当する額を加算した金額(当該金額に1円未満の端数があるときは、その端数金額を切り捨てた金額)をもって落札価格とするので、入札者は消費税及び地方消費税に係る課税事業者であるか免税事業者であるかを問わず、見積もった契約希望金額の110分の100に相当する金額を入札書に記載すること。

(4) 開札に立ち会う者

開札は、入札者又は代理人を立ち合わせて行うものとする。ただし、入札者又は代理人が立ち会わない場合は、この入札事務に関係のない職員を立ち合わせて行うものとし、同価入札となった際は、この入札事務に関係のない職員が代理でくじを引くものとする。

(5) 入札の無効

次のいずれかに該当する入札は、無効とする。

- ア 3に掲げる資格のない者の行った入札
- イ 申請書等を提出しなかった者又は申請書等に虚偽の記載をした者の行った入札
- ウ 委任状を持参しない代理人による入札
- エ 記名押印を欠く入札
- オ 金額、名称若しくは商号、印鑑若しくは重要な文字の誤脱若しくは不明な入札書又は金額を訂正した入札書で入札した者の行った入札
- カ 同じ入札に2以上の入札(他人の代理人としての入札を含む。)をした者の行った入札
- キ 入札に関し、不正の利益を得るための連合その他の不正行為をした者の行った入札
- ク 入札関係職員の指示に従わない等入札会場の秩序を乱した者の行った入札

ケ その他入札に関する条件に違反した者の行った入札

(6) 契約の手續において使用する言語及び通貨

日本語及び日本国通貨に限る。

(7) 契約書作成の要否

要する。

6 入札保証金

免除する。ただし、落札者が契約を締結しない場合は、落札金額の100分の5相当額の違約金を落札者から徴収する。

7 契約保証金

落札者は、契約金額の100分の10以上の額の契約保証金を、契約締結と同時に納付しなければならない。ただし、銀行その他契約担当者が確実と認める金融機関（以下「銀行等」という。）が振り出し、若しくは支払保証をした小切手又は銀行等の保証をもって契約保証金の納付に代えることができ、規則第159条第2項各号のいずれかに該当する場合は、免除する。

8 その他

(1) 1から7までに定めるもののほか、規則の定めるところによる。

(2) 詳細は、入札説明書による。

(3) 令和3年度の府の歳入歳出予算において、落札者に支払うべき委託料が減額され、又は削除されたときは、契約を解除することがある。